

湖南省庁舎建設及び 周辺整備基本計画を策定しました

～市民の安全・安心な暮らしを支える庁舎をめざして～

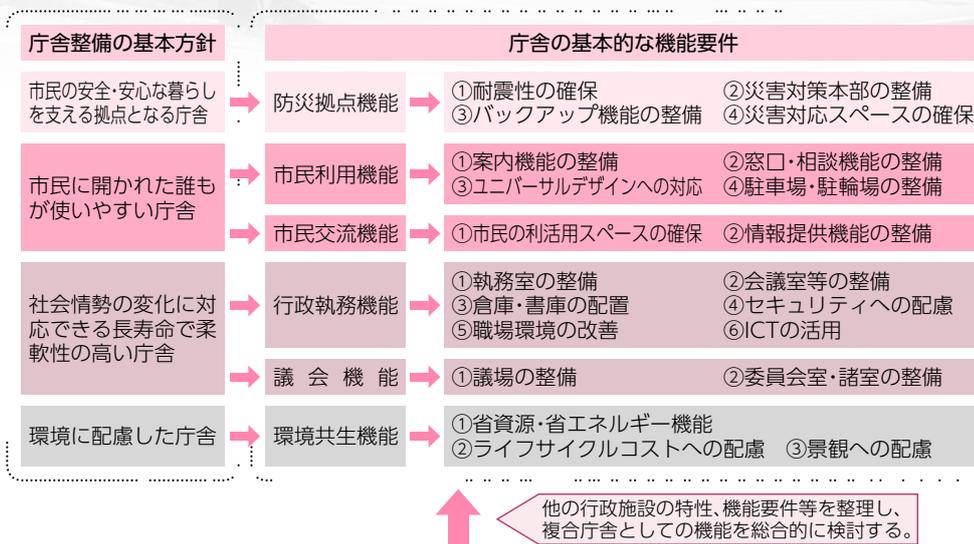
平成28年の熊本地震では5つの自治体の庁舎が震災により使用できなくなり、庁舎外での災害対応を余儀なくされました。自治体には災害発生直後から、被災証明書の発行や市民への救援物資の提供など、迅速な復旧活動が求められます。

湖南省の庁舎は、東西庁舎ともに築後約40年を経過しています。東庁舎においては、耐震診断の結果、震度6強の地震発生により、倒壊または崩壊する危険性があると診断されています。

市では、平成27年度に湖南省東庁舎周辺整備計画（基本構想）を策定し、その後、平成28年度から外部有職者を交えた検討を重ね、基本計画の策定に取り組んできました。この基本計画は、庁舎整備に係る基本方針や、庁舎の必要な機能、事業計画に関する検討などを整理したものです。

基本計画の概要

● 庁舎建設の基本方針及び庁舎の機能



● 庁舎の規模

新庁舎は、行政機能の庁舎ゾーンは9,500㎡、複合機能ゾーンは4,500㎡とし、併せて14,000㎡としています。

● 財源検討

庁舎整備に当たっては多額の整備費が必要になることから、交付税措置のある起債などを活用しながら、効率的な整備を進めていきます。

※甲西図書館については、現在新庁舎への複合化を計画していますが、今後実施する基本設計段階においては、複合化にこだわることなく、事業費の観点からも、効率的で有効な方法を選択しながら見直しを行ってまいります。

● 概算事業費

新庁舎等整備に関する概算事業費として、総額64億7千万円を想定します。

建設工事費	+	除却費	+	改修費	+	周辺整備費	+	調査・設計費	=	合計
56億2千万円		3億2千万円		3千万円		3億円		2億円		64億7千万円

● 整備スケジュール

今後は、平成30年度に基本設計・実施設計、平成31～32年度に建設工事を行い、平成32年度末に新庁舎の供用を開始するスケジュールで取組を進めていきます。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
基本計画	→	→ タウンミーティングなど				
基本設計・実施設計			→ 市民ワークショップ	(約1年1か月)		
建設工事					(約1年7か月)	
解体工事				(中央まちづくりセンター)		(約1年) (東庁舎・図書館・保健センター・社会福祉センター)

↑ 新庁舎供用開始

今後行う基本設計の際には、ワークショップを行うなど市民の皆さんや、関係団体の意見を伺いながら進めていきます。

計画の詳細はホームページをご覧ください。

問 総務課(東庁舎)

☎ 71・2313 FAX 72・3390